校訓	真善美	平成30年度学校だより 「荒中だより」 第31号	発行日	平成31年1月17日
教育目標	自主、自立、感謝の精神を抱き、 未来を拓く生徒の育成 -豊かな心、確かな学力、健やかな体を育てる-		発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長　難波 重之

１．１７に考える

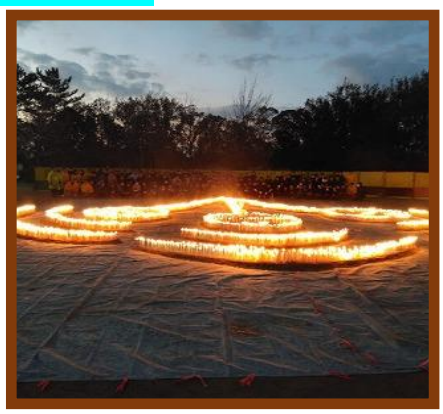
「行く」１月と言いますが、１月も折り返しを過ぎました。暦の上ではまもなく大寒（だいかん）、一年で最も寒さが厳しい頃と言われます。インフルエンザが流行（はや）りはじめています。手洗いやうがい、規則正しい生活など体調管理には十分に気をつけてください。大寒の頃は、新鮮な卵を食べると健康になると言います。これは、鶏（にわとり）が寒さに負けないように栄養を蓄（たくわ）えようと普段よりもえさを食べるからだそうです。**私たちもしっかりと栄養を摂（と）り、寒さやインフルエンザに負けないようにしたい**ですね。

今から24年前の今日、兵庫県南部を激しい揺れが襲いました。この地震で、阪神間では**震度７**が観測され多くのビルや家が倒壊（とうかい）しました。地震で亡くなられた**6,434名の方の約70%**は、倒壊した建物等の下敷きになって**窒息（ちっそく）、圧死された方々**でした。また地震によって各地で火災が発生し、**400 名を超える方々が火事で命を落とされました。**地震は**5時46分に発生**したので、多くの人はまだ寝ていました。私自身も突然の激しい揺れに目が覚め、背中から何度も突き上げられるような感覚だったことを覚えています。

幸い私の家は倒壊等を免（まぬが）れました。しかし、ライフライン（電気、ガス、水道等）の復旧には時間がかかりました。電気は地震が発生した夜にはつながっていました。しかし、水道は約二週間、ガスの回復までには二か月ほどかかりました。そのためポリタンクを持って井戸水をもらいに並び、トイレ用の水を近くの川へくみに行きました。食事はしばらくの間、冷たいおにぎりばかりでした。そのような生活に少しずつ慣れてくるとともに、電気コンロを使って調理し食べられるものが増えていったように記憶しています。このような経験から、**水や食べ物のありがたさを痛感**

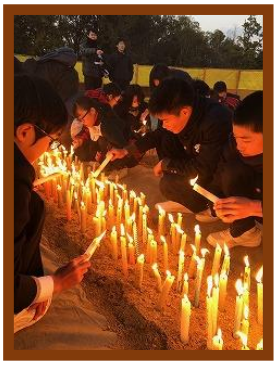
しました。今日の給食は、温かいご飯や高野豆腐の味噌汁に加え、**防災献立**ということで**乾パンやチキンソーセージ**も提供されます。乾パンを初めて食べる人もいるかもしれません。非常食をいただくことで、**ライフラインに不自由した 24 年前に、思いを馳せてみて**ください。

兵庫県南部地震犠牲者追悼の集いに参加しました



1 月 16 日（水）昆陽池公園南広場にて行われた、「第 24 回兵庫県南部地震犠牲者追悼のつどい」に生徒会役員が参加してきました。全校生でろうそくに追悼メッセージを書き、それを持っていきました。ご協力ありがとうございました。

今年のテーマは、**「きょう命 ～共にある命 響き愛う命 今日ある命～」**です。



あの日、「生きる」を託されたこの命。**共に生き、お互いを思いやり、今日あるこの命はつながれて**いきます。震災から 24 年、震災を知らない世代が多くなり、このような活動の大切さを改めて強く感じました。今日という日が「誰かのことを思いやる」優しい心の日であってください。

部活動について

「伊丹市中学校運動部活動に関する方針」が策定され、今年４月から運用されます。１月から３月の移行期間は、一か月の土日のうち（３週にわたる）３回と平日週あたり１日の休養日を各部で設けます。詳細は各部の予定表をご確認ください。また文化部も運動部に準じた扱いとなります。何かご不明な点は各顧問までお問合せください。

きらめけ!!荒中生!!

☆卓球部　県１年生卓球大会　阪神地区予選（1/12）　優勝　横山紫音

☆バレー部　伊丹市冬季大会（1/12･13）　男子　準優勝　女子　準優勝

自信と誇りを持てる学校を創ろう!!